

すだち

The Tokushima University Library Bulletin

徳島大学附属図書館報 No. 56 1997. 1



元禄国絵図と推定される阿波国大絵図 (徳2)

『日本現代地図展目録』によれば、本図は天和3年頃の作成とされている。しかし、讃岐・伊予・土佐国境の形状は、元禄13年(1700)の「讃岐伊予土佐国端絵図」(文部省史料館所蔵)と一致し、村名・石高を記載した「村形」の位置も元禄年中の変地調査に基づくことから、元禄13年に幕府に献上された元禄国絵図の下図と推定される。

目 次

巻頭記事

- 伊能図と阿波・淡路両国絵図
—本学附属図書館所蔵の古地図— …… 2

トピックス

- 本館の開館時間延長(試行) …… 4
- 常三島地区における
集中配置対象雑誌の調査結果 …… 4
- 徳島県大学図書館協会研修会開催 …… 4

お知らせ

- Current Contents (有料)
- 新サービスへの移行 …… 5
- MEDLINE 新サービスへの移行 …… 5
- 新図書館コンピューターシステムへの移行 …… 5
- 電子メールによるQ&A …… 5
- プリペイドカード式複写機の設置 …… 5

ガイダンス

- 学術雑誌閲覧室(新設)の
利用について(本館) …… 6

資料情報

- AV 資料おすすめ的一本(本館)
モーツァルトの歌劇『魔笛』 …… 10
- 本学教官著作寄贈図書一覧 …… 11

報 告

- 徳島県大学図書館協会研修会に参加して …… 11

図書館日誌

- 会 議 …… 12
- 人事往来 …… 12

【別冊付録】

- 1997年版新規購読・購読中止学術雑誌一覧—

伊能図と阿波・淡路両国絵図
—本学附属図書館所蔵の古地図—

総合科学部助教授 平井松午

徳島大学附属図書館には、200点を越える古地図類が貴重本として所蔵されている。図書館作成の『日本現代地図展目録』によれば、その内訳は[徳島]55点、[全国]20点、[諸国]49点、[江戸]44点、[京都]16点、[世界]17点となっており、このほかに複製絵図やアトラスなども含まれている。これらの古地図の中には、「阿波国文庫」の印影があるものが少なくない。「阿波国文庫」は峰須賀家旧蔵の大集書(約6万冊)のことで、残念ながら第二次大戦後にその多くが焼失もしくは散逸している。本館所蔵の古地図類は、昭和26(1951)～28年にかけて本学学芸学部によって購入されたものである。

このうち[全国]の古地図の中には、蓋裏に「文化元年甲子歳造之 伊能勘解由」の銘のある桐箱に納められた「沿海地図」(東日本3鋪, 1804年)や「大日本沿海図稿」(西日本4鋪, 年不詳)がある。いずれも美しく保存状態もよい。このほかに、慶応3年(1867)に幕府開成所より発行された「官板実測日本地図」(東日本4鋪)や、「豊後国沿海図」([諸国]大図3鋪, 年不詳)も含まれている。伊能勘解由とは、初の実測日本図を作成した伊能忠敬のことであ

る。文政11年(1828)のシーボルト事件でも知られているように、「伊能図」は幕府の最高機密であったが、他方で忠敬の測量を援助した大名が「伊能図」の副本・写本を入手しており、現在、各所に所蔵されている伊能図の中にはこうした経緯を有するものも少なくない。しかしながら、本館が所蔵する「沿海地図」の中図3鋪(享和3年までの測量結果を総合した幕府上程本の副本)は、本館以外では伊能忠敬記念館および文部省史料館に所蔵されているのみであり、本館が所蔵する伊能図の学術・文化的価値が高いことは言うまでもない。

こうした一連の伊能図と同様に貴重なのが、阿波・淡路関係の絵図類[徳島]である。これらの絵図は、いまの県図にあたる「国絵図」、それに「城下絵図」、「村絵図」などに分類される。以下では、その中でもきわめて学術的な価値が高いと考えられる「国絵図」および実測分間絵図について紹介したい。

本館に所蔵されている阿波の「国絵図」は3種類3鋪あり、目録ではいずれも「阿波国大絵図」(目録番号:徳1～3, 以下同じ)の図名が付されている。淡路分については「淡路国絵図」(徳44・45)が2種

類2 鋪残されている。「国絵図」とは、徳川幕府が諸藩の大名に命じて「郷帳」（村ごとの石高を記載した台帳）とともに調進させた一国単位の絵図（幕府撰国絵図）のことで、山川、郡界線、郡名、村名、石高、主要街道、海路などが記載された支配のための基本図であった。江戸時代を通じて、国絵図は慶長（1604年頃）・正保（1644年頃）・元禄（1697年頃）・天保（1835年頃）年間に全国一斉に調進されたほか、寛永（1633年頃および1638年頃）・寛文（1665年頃）年間などにも逐次作成された。

本館に所蔵されている阿波国・淡路国絵図では、徳2が「天和3年（1683）頃」と推定されている以外は、作成年が不詳である。阿波・淡路両国の幕府撰国絵図に関しては、このほかに文部省史料館に阿波国分が4種類4鋪、淡路国分が3種類3鋪残されている。このうち阿波国分の1鋪は、本館所蔵の国絵図（徳1）と同じものである。それゆえ、阿波国分については6種類6鋪、淡路国分については5種類5鋪の国絵図が確認できるのである（このほかに、国立公文書館内閣文庫が天保国絵図を所蔵）。これらの国絵図はいずれも幕府に提出された清図（正図）の控え図もしくは下図と考えられ（清図は現存しない）、その形状や記載内容・表現はそれぞれ異なっている。

筆者は最近、これらの国絵図を比較する機会に恵まれた。その結果、本館所蔵の阿波国絵図の徳1は慶長国絵図、同じく徳2は元禄国絵図、徳3は寛永後期の国絵図と推定された。また、その記載様式が阿波国分と対をなす淡路国絵図（徳44）は元禄国絵図、徳45は寛永後期の淡路国絵図となる。詳細は拙論（「阿波の古地図を読む」、徳島建設文化研究会編集・発行『阿波の絵図』所収、1994年）を参照していただければ幸いだが、この結果、阿波国絵図に関していえば、慶長・寛永前期・寛永後期・正保・寛文・元禄・天保の7期の国絵図が確認できることになる。淡路国については慶長期の国絵図を欠くが、これは徳島藩が淡路国を加封されたのが元和元年（1615）だったためであろう。現在、国絵図研究が徐々に進められつつあるが、一国の国絵図が7～6期にわたって確認されるケースは少なく、かかる点で本館および文部省史料館が所蔵する国絵図は、研究面においても標式的役割を果たしうる貴重史料といえる。

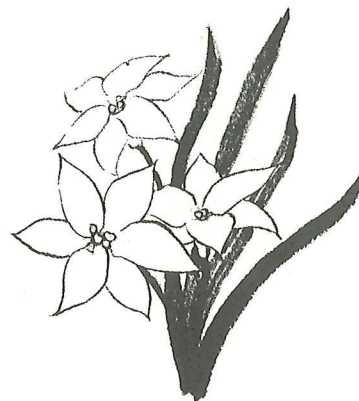
次に、実測分間絵図についてみてみたい。近世期の絵図の多くは作成法上「見取図」と呼ばれ、実測に基づかない略絵図の類であった。これに対して「分間絵図」とは、一定の縮尺（分間）に基づいて描かれた絵図のことである。当初は経験的に得られた里

程などを基準としたが、近世後期には実測結果に基づいて縮尺される分間絵図も現れてくる。

伊能忠敬が活躍していた頃、徳島藩にもこうした実測分間絵図を作成した測量方に岡崎三蔵がいた。三蔵は、寛政11年（1799）に紅毛流規矩術（西洋流測量術）による測量法・製図法を解説した『南阿測地法』全7巻を著し、藩命のもと、享和2年（1802）に「阿波国図」作成のための測量に着手した。「阿波国図」が完成するのは天保2年（1831）で、引き続き弘化4年（1847）には「淡路国図」を完成させている。

三蔵らが手がけた「国図」の作成方法は、まず両国内の村々（阿波国約580ヵ村、淡路国約250ヵ村）を、今日でいう導線法と交会法を用いて一村ずつ測量して縮尺約1800分の1の「村図」を仕上げ、それを郡単位で縮尺約18,000分の1の「郡図」に編集し、さらに郡図をあわせて縮尺約45,000分の1の「国図」に仕立てるというものであった。三蔵らによって作成された分間絵図は実測に基づく精巧な絵図であり、その測量・作図技術は伊能忠敬らにも引けをとらなかった。また分間絵図は、「見取図」に特徴的な俯瞰的な図法や山の表象的な表現方法を排し、山地と平地を平面的に色分けするなど客観性を帯びさせていて、「地図」に大きく近づいた「絵図」であった。

本館所蔵の古地図の中にも、岡崎三蔵らが作成したとみられる分間絵図が残されている。村図としては、「文化11年（1814）6月改正 阿波国那賀郡古毛村絵図」（徳4）ほか2鋪、郡図としては「勝浦郡分間絵図」（徳40）の1鋪がある。これらの実測分間絵図については正図が徳島県庁に保管されていたが、昭和20年7月の徳島空襲によって灰燼に化してしまった。それゆえ、本館や徳島県立図書館などにその一部が残されている分間実測絵図は、わが国の近世測量術や幕末期の阿波・淡路国の地勢を知る上で貴重な財産といえる。



トピックス

本館の開館時間延長（試行）

この度、工学部夜間主コース学生の便宜や平成9年1月より実施される学術雑誌の集中配置等を考慮して、試行的に平成8年9月17日(火)から平日、開館時間を1時間延長して21時まで開館することになりました。但し、冬季休業、学年末休業期間中は17時に閉館します。冬は暖かく、夏は涼しく、疲れは新聞・雑誌コーナーで、夜間9時まで、学習に、研究に、人生を豊かにしてくれるいろいろな図書や雑誌、CD、Video、LD等で図書館を生活の場として、あなたの人生の一齣を有意義に過ごしましょう。何かを発見できるかもしれません。

常三島地区における

集中配置対象雑誌の調査結果

ご多忙のなか、多数の研究室の皆様にご協力いただきました集中配置対象雑誌の調査結果を取りまとめましたので、下記のとおり報告します。この調査結果から得られた学術雑誌(今回新たに集中配置される雑誌と既に集中配置されている雑誌)と図書館で購読している雑誌を合わせて、新設の学術雑誌閲覧室に配架します。詳しくは、「学術雑誌閲覧室の利用について」(後掲)をご覧ください。1997年購読分より配置します。

集中配置雑誌のバックナンバーについては、1997年中に順次配置します。利用者の皆さんには、多少不便をお掛けしますが、今後とも、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 集中配置予定の雑誌数

学 部	国内及び中国雑誌	その他の外国雑誌	計
総合科学部	24	55	79
工 学 部	18	39	57
合 計	42	94	136

2. すでに集中配置済みの雑誌数

学 部	中国雑誌	その他の外国雑誌	計
総合科学部	4	2	6
工 学 部	0	22	22
合 計	4	24	28

3. 集中配置を検討中の雑誌数（条件付きを含む）

学 部	国内雑誌	外国雑誌	計
総合科学部	18	27	45
工 学 部	17	19	36
合 計	35	46	81

4. 回答状況（全購読研究室数 99）

学 部	回 答	電話による回答	未回答	計
総合科学部	18	3	4	25
工 学 部	47	2	24	73
開放実践センター	1	0	0	1
合 計	66	5	28	99

徳島県大学図書館協会研修会開催

10月25日、徳島大学附属図書館において、徳島県大学図書館協会の平成8年度研修会が開催されました。同協会は、徳島県下の国公立大学等の図書館で構成され、昭和59年度から図書館間の相互協力と健全な発展を目的として活動していますが、その一環として開催されたものです。5大学等から15名が参加し、「各館における蔵書構成、特殊コレクション、郷土関係資料の現状と課題」をテーマとして盛大に開催されました。研修会では、4大学から各館が所蔵している特殊コレクション等について発表があり、質疑応答が活発に行われました。その後徳島大学附属図書館所蔵の郷土関係の古地図、古文書等を見学しました。



お知らせ

Current Contents (有料)

新サービスへの移行

昨年10月、全学にご案内して、暫定申込を募ったところ、皆様からたくさんのお申込をいただき、UNIXサーバ (ERL システム) によるサービスが可能となりました。検索は、Macintoshに限らず、Windowsパソコン、UNIXマシンからも可能です。通信プロトコルは昨年の AppleTalk から TCP/IP に変更しましたので、どの支線からもアクセスできます。当然のことですが、IPアドレスの取得が必要です。支線管理者に申請して下さい。昨年は無料サービスでしたが、今年は、お申し込みいただいた教室 (経理区分) 単位の有料サービスとなりますので、ご了承下さい。図書館内の端末は、今までどおり無料公開していますので、ご利用下さい。

サービス内容は、以下のとおりです。

- ① Life Sciences J-1200 ed.
- ② Agriculture, Biology & Environmental Sciences ed.
- ③ Physical, Chemical & Earth Sciences ed.
- ④ Clinical Medicine ed.
- ⑤ Engineering, Computing & Technology ed.

MEDLINE 新サービスへの移行

MEDLINE も Current Contents 同様、UNIXサーバ (ERL システム) による運用に移行しました。UNIXサーバの磁気ディスクにデータベースを蓄積しているため、CD-ROMにアクセスする旧来のシステムより高速に検索できます。従来どおり、無料サービスです。上記 Current Contents の案内にも記しましたように、TCP/IPを使用するため、IPアドレスの取得が必要です。

ERLに移行しても、検索ソフトはこれまでと同じ SPIRS (ただし、サーバに接続するための設定が新たに必要) です。また、WWW版の SPIRS がサーバに用意されますので、こちらをお使いの場合は、NETSCAPE等のブラウザがあれば、検索できます。

検索ソフトの入手先サイト情報、利用方法については、tunes. announce 及び tunes. admin というニュースグループに記事を掲載していますので、ご覧下さい。

subject:medline

date:9 Dec 1996 02:08:32 GMT

新図書館コンピューターシステムへの移行

昨年7月、仕様策定委員会で決定された仕様に基づき行われた入札の結果、リコーの LIMEDIO が新しい図書館システムに選ばれました。本年1月にテスト運用し、2月から本運用となります。

今回の更新は、オフィスコンピュータシステムから UNIXシステムへの移行です。データ移行のため、昨年11月から目録データの入力がストップしています。それを補う方策を講じていますが、万全とはいえません。そのため、目録業務、ひいては、研究室への特別貸出にも影響が出る可能性があります。貸出返却方式も、変更されます。その他、OPACも変更されます。慣れるまで、利用者の皆様も戸惑われる事と思いますが、皆様に供与できる情報サービスの内容は以前より充実していますので、ご理解のほどお願いします。

新システムについては、後日改めて詳しくご案内する予定です。

電子メールによる Q&A

図書館サービスに関して、口頭 (電話) でのお問合わせにすぐわかない内容のものについては、下記メールアドレス宛電子メールをお送りいただければ、お答えいたします。なお、利用者の皆様にお知らせすべきと判断できるものについては、質問及び回答内容を何等かの形で公開しようと考えています。

これは、暫定的な措置です。次期システムの本稼動後、各係のメール設定、教育・訓練が完了すれば、各係宛、電子メールをお送り下さい。

また、ニュースグループを皆様にお諮りして作成し、そちらで継続的な公開討議の場を設けてはという意見もありますが、目的を逸脱して非難・中傷・誹謗合戦に墮す危険性もありますので、慎重に検討したいと思います。

メールアドレス: q&a@lib.tokushima-u.ac.jp

プリペイドカード式複写機の設置

本年1月から生協のプリペイドカード式複写機 (料金: 1枚10円) を私費コピー専用として、本館分館に1台ずつ設置していただきました。開館中はいつでも利用できます。土曜日の利用も可能です。ただし、プリペイドカードは生協で購入して下さい。

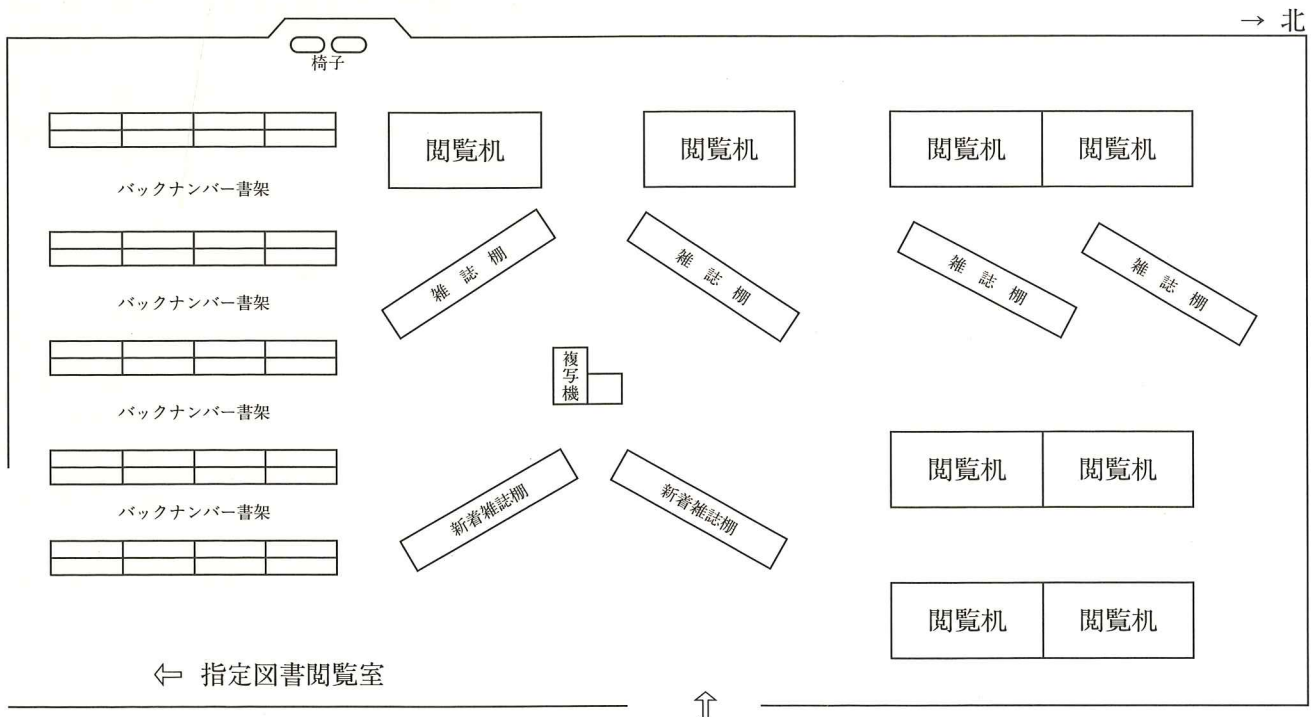
学術雑誌閲覧室（新設）の利用について（本館）

情報サービス係

附属図書館では平成9年1月から指定図書閲覧室の北側半分（図参照）に、学術雑誌閲覧室を設置します。学術雑誌閲覧室には、常三島地区における集中配置（共同利用）雑誌を中心に、従来、図書館で購読中の学術雑誌、大学院（研究科）関係の雑誌を含め、国内及び中国関係雑誌109種、その他の外国雑誌156種、合計265種（リストを参照）を、分野別に展示配架します。バックナンバーは、書架にアルファベット順に、順次配架する予定です。

研究や学習で必要な雑誌が図書館に行けば、開館時間中いつでも利用できるという点で大変便利になります。図書や雑誌で同時に調査でき、しかも教室の先生方は、必要な時はいつでもコピーすることが出来るカード式複写機を設置します。将来は、雑誌の種類数も増加しより一層研究し易い場所になるでしょう。これも地区の先生方のご協力の賜物です。

利用者の皆様！研究に、学習に、ブラウジングに大いにご利用下さい。



配置学術雑誌一覧

国内雑誌

- 1 ASCII
- 2 BASIC 数学
- 3 bit 別冊共
- 4 仏教
- 5 仏教芸術
- 6 文物
- 7 文学評論（中国語版）
- 8 文学遺産（中国語版）
- 9 文学界
- 10 文学季刊

- 11 月刊 地球
- 12 朝鮮学報
- 13 中国画報（日本語版）
- 14 中国語
- 15 土木学会論文集 第I-VII
- 16 英語教育
- 17 英語青年
- 18 月刊 エコインダストリー
- 19 English Journal.
- 20 復印報刊資料 中国近代史
- 21 復印報刊資料 魏晋南北朝隋唐史

22 復印報刊資料 明清史
 23 復印報刊資料 先秦秦漢史
 24 復印報刊資料 宋遼金元史
 25 ふらんす
 26 学術月報
 27 現代化学
 28 現代思想
 29 言語/月刊
 30 言語研究
 31 群 像
 32 発達心理学研究
 33 へるめす
 34 比較文明
 35 比較思想研究
 36 法学セミナー
 37 翻訳の世界
 38 表 面
 39 異文化間教育
 40 インターネットマガジン
 41 Japan Quarterly.
 42 JAMA(日本語版)
 43 児童精神医学とその近接領域
 44 人民中国(日本語版)
 45 JIS 追録 B.機械, 総目次
 46 住民と自治
 47 科 学
 48 科学技術文献サービス
 49 科学技術文献速報 機械工学編
 50 科学哲学
 51 計測自動制御学会論文集
 52 経 済
 53 経済セミナー
 54 基礎心理学研究
 55 古文書研究
 56 国立国会図書館月報
 57 教育心理学研究
 58 教育哲学研究
 59 教育と施設
 60 九州中国学会報
 61 文部時報
 62 ナショナルジオグラフィック日本版
 63 熱帯林情報
 64 日本ハイパーサーミア誌
 65 日本機械学会講習会材料
 66 日本教育新聞
 67 日本教育心理学会発表論文集
 68 日本の美術
 69 日本の科学者
 70 日本心理学会発表論文集
 71 日経バイト
 72 日経コンピュータ

73 日経 Mac
 74 日経パソコン
 75 日経サイエンス
 76 人間と環境
 77 脳と発達
 78 ニュートン
 79 オプトロニクス
 80 パリティ
 81 Petrotech
 82 倫理学年報
 83 サイアス
 84 生物物理
 85 石油学会誌
 86 月刊 しにか
 87 神経研究の進歩
 88 心理学評論
 89 史 林
 90 数学セミナー 増刊共
 91 Sun World
 92 数理科学 別冊共
 93 大陸雑誌
 94 短 歌
 95 短歌研究
 96 テレビジョン学会誌
 97 哲 学
 98 東方宗教
 99 トライボロジスト
 100 図書館雑誌
 101 Unix Magazine
 102 ワールドウォッチ
 103 ユリイカ

欧 文 雑 誌

1 AAPG Bulletin.(USA)
 2 Accounts of Chemical Research.(USA)
 3 Acta Materialia.(GBR)
 4 Akzente.(DEU)
 5 Ambiente.(DEU)
 6 American Journal of Psychology.(USA)
 7 Archiv fur Reformationsgeschichte.(DEU)
 8 Arkiv for Matematik.(SWE)
 9 Art in America.(USA)
 10 Art News.(USA)
 11 Association of Asphalt Paving Technology.
 (USA)
 12 Beitrage zur Geschichte der Deutschen
 Sprache.(DEU)
 13 Beton und Stahlbetonbau.(DEU)
 14 Betonweek + Fertigteile Technik.(DEU)
 15 British Journal of Psychology.(GBR)
 16 Byte.(USA)

- 17 C.I.R.P. Annals.(SCH)
 18 Child Development.(USA)
 19 Coastal Engineering. (NLD)
 20 Cognition and Instruction.(USA)
 21 Cognitive Psychology.(USA)
 22 Combustion and Flame.(USA)
 23 Composites.Part A.(GBR)
 24 Concrete Products.(USA)
 25 Construction Products.(USA)
 26 Construction Repair.(GBR)
 27 Control Engineering Practice.(GBR)
 28 Deutsche als Fremdsprache.(DEU)
 29 Deutsche Sprache.(DEU)
 30 Deutsche Vierteljahrschrift und
 Literaturwissenschaft.(DEU)
 31 Deutscheunterricht.(Berlin)
 32 Deutscheunterricht.(Stuttgart)
 33 Diamond and Related Materials.(NLD)
 34 Discourse Processes.(USA)
 35 Ecological Engineering.(NLD)
 36 Economist.(GBR)
 37 Electroencephalography and Clinical
 Neurophysiology.(NLD)
 38 Electromyography and Motor Control.(NLD)
 39 Environment and Planning. Sect.B.(GBR)
 40 Environment and Planning. Sect.C.(GBR)
 41 Environment and Planning. Sect.D.(GBR)
 42 Environmental Science and Technology.
 (USA)
 43 Esquire.(USA)
 44 Euphorion.(DEU)
 45 Evoked Potentials.(NLD)
 46 Family and Consumer Sciences Research
 Journal.(USA)
 47 Fatigue and Fracture of Engineering
 Materials and Structures.(GBR)
 48 Flash Art(International Ed.)(USA)
 49 Foreign Affairs.(CAN)
 50 Francais dans le Monde.(FRA)
 51 Geological Society of America Bulletin.
 (USA)
 52 Germanic Review.(USA)
 53 Germanische-Romanische Monatsschrift.
 (DEU)
 54 Highways.(GBR)
 55 Hydrocarbon Processing.(USA)
 56 Instructional Science.(NLD)
 57 Intermetallics.(GBR)
 58 International Journal of Machine Tools and
 Manufacture, Design, Reserch and Application.
 (USA)
 59 International Journal of Psychology.(FRA)
 60 International Journal of Science Education.
 (GBR)
 61 International Journal of the Sociology of
 Language.(NLD)
 62 Journal d' Analyse Mathematiques.(ISR)
 63 Journal of Academic Librarianship.(USA)
 64 Journal of Acoustic Emission.(USA)
 65 Journal of Biological Chemistry.(USA)
 66 Journal of Educational Psychology.(USA)
 67 Journal of Environmental Systems.(USA)
 68 Journal of Experimental Child Psychology.
 (USA)
 69 Journal of Experimental Psychology:
 Animal Behavior Processes.(USA)
 70 Journal of Experimental Psychology:
 General(USA)
 71 Journal of Experimental Psychology:
 Human Perception and Performance.(USA)
 72 Journal of Experimental Psychology:
 Learning, Memory and Cognition.(USA)
 73 Journal of Fluid Mechanics.(GBR)
 74 Journal of Geoscience Education.(USA)
 75 Journal of Materials Processing Technology.
 (NLD)
 76 Journal of Memory and Language.(USA)
 77 Journal of Metamorphic Geology.(GBR)
 78 Journal of Moral Education.(GBR)
 79 Journal of Physics. Condensed Matter.(GBR)
 80 Journal of Prestressed Concrete Institute.
 (PCI Journal)(USA)
 81 Journal of Psychology.(USA)
 82 Journal of Robotic Systems.(USA)
 83 Journal of Sound and Vibration.(GBR)
 84 Journal of Structural Geology.(GBR)
 85 Journal of Visual Communication and Image
 Representation.(USA)
 86 Langenscheidte Sprach-Illustrierte.(DEU)
 87 Liebig's Annalen:
 Organic and Bioorganic Chemistry.(DEU)
 88 Linguistische Berichte.(DEU)
 89 Literary and Linguistic Computing.(USA)
 90 Materials Evaluation.(USA)
 91 Materials Science and Engineering.
 A,B,R.(SCH)
 92 Materials Sciences and Technology.(GBR)
 93 Mathematical Intelligencer.(DEU)
 94 Mechanical Engineering.(USA)
 95 Memory and Cognition.(USA)
 96 Merkur:Deutsche Zeitschrift fur
 Europaisches Denken.(DEU)

- 97 Metallurgical and Materials Transactions.
Sect.A:Physical Metallurgy and Materials
Science.(USA)
- 98 Modern Language Journal.(USA)
- 99 MTZ(Motortechnische Zeitschrift).(DEU)
- 100 National Geographic(USA)
- 101 Nature.(GBR)
- 102 Neue Rundschau.(DEU)
- 103 Newsweek.(USA)
- 104 Oeuvres et Critiques.(FRA)
- 105 Perception and Psychophysics.(DEU)
- 106 Perception.(GBR)
- 107 Physica C:Superconductivity.(NLD)
- 108 Physical Review.B.Condensed Matter.
(USA)
- 109 Physics of the Solid State.(USA)
- 110 Poetique.(FRA)
- 111 Power Metallurgy.(GBR)
- 112 Presse und Sprache.(DEU)
- 113 Proceedings of the National Academy of
Sciences of the U.S.A. (USA)
- 114 Psychological Research.(DEU)
- 115 Public Roads.(USA)
- 116 Quarterly Journal of Experimental
Psychology.A,B.(GBR)
- 117 Review of Scientific Instruments.(USA)
- 118 Revue d'Histoire Litteraire de la France.
(FRA)
- 119 Scandinavian Journal of Psychology.(SWE)
- 120 Science Education.(USA)
- 121 Science.(USA)
- 122 Scientific American.(USA)
- 123 Scripta Materialia.(USA)
- 124 SIAM Journal on Mathematical Analysis.(USA)
- 125 Sinn und Form.(DEU)
- 126 Spiegel Special.(DEU)
- 127 Spiegel.(DEU)
- 128 Superconductivity Review.(SCH)
- 129 Synthesis:Journal of Organic Chemistry.
(DEU)
- 130 Time,the weekly News Magazines.
(Asian Ed.)(JPN)
- 131 Transactions of the ASME:
Journal of Applied Mechanics.(USA)
- 132 Transactions of the ASME:
Journal of Biomechanical Engineering.(USA)
- 133 Transactions of the ASME:
Journal of Dynamic Systems, Measur-
ementand Control.(USA)
- 134 Transactions of the ASME:
Journal of Electronic Packaging.(USA)
- 135 Transactions of the ASME:
Journal of Energy Resources Technology.
(USA)
- 136 Transactions of the ASME:
Journal of Engineering for Gas Turbines and
Power.(USA)
- 137 Transactions of the ASME:
Journal of Engineering Materials and
Technology.(USA)
- 138 Transactions of the ASME:
Journal of Fluids Engineering .(USA)
- 139 Transactions of the ASME:
Journal of Heat Transfer.(USA)
- 140 Transactions of the ASME:
Journal of Manufacturing Science
and Engineering.(USA)
- 141 Transactions of the ASME:
Journal of Mechanical Design.(USA)
- 142 Transactions of the ASME:
Journal of Offshore Mechanics & Arctic
Engineering.(USA)
- 143 Transactions of the ASME:
Journal of Pressure Vessel Technology.(USA)
- 144 Transactions of the ASME:
Journal of Solar Energy Engineering.(USA)
- 145 Transactions of the ASME:
Journal of Tribology.(USA)
- 146 Transactions of the ASME:
Journal of Turbomachinery.(USA)
- 147 Transactions of the ASME:
Journal of Vibration and Acoustics.(USA)
- 148 Transportation Research Record.(USA)
- 149 U.S. News and World Report.(GBR)
- 150 Vision Research.(GBR)
- 151 Wear.(NLD)
- 152 Wind Engineering.(GBR)
- 153 Wirkendes Wort.(DEU)
- 154 Zeitschrift fur Deutsche Philologie.(DEU)
- 155 Zeitschrift fur Deutsches Altertum und
Deutsche Literature.(DEU)
- 156 Zielsprach Deutsch.(DEU)

国内欧文雑誌

- 1 Coastal Engineering in Japan.
- 2 Heterocycles.
- 3 Japanese Psychological Research.
- 4 Journal of Hydrosience and Hydraulic
Engineering.
- 5 Optical Review.
- 6 Psychologia.

Audio Visual おすすめの一本 (本館)

モーツァルトの歌劇『魔笛』

総合科学部教授 石川 榮 作



昨年7月26日より9月20日までウィーン大学に出張していた折に、夜はよくオペラへ出かけた。オペラシーズンは9月1日に始まるのだが、帰国までの3週間の間に7回も出かけた。その中で2度同じものを観て大いに楽しむことができたのが、モーツァルトの歌劇『魔笛』である。厳密に言えば、オペラではなく、ジングシュピール(歌芝居)と言うべきだが、今回はこのモーツァルトの作品をお薦めすることにしよう。本学附属図書館(本館)に所蔵されている『魔笛』の2種類のレーザー・ディスク(コレクション番号LD66-67, LD210-211)の中でも特に後者のものをお薦めしたい。このLDは1983年ミュンヘンのバイエルン国立歌劇場でライブ収録されたもので、指揮はお馴染みのヴォルフガング・サヴァリッシュである。あらすじを簡単に紹介すれば、王子タミーノは夜の女王に頼まれて、その娘パミーナをザラストロの手から取り戻そうと、鳥刺し男パパゲーノとともに魔法の笛を持って出かけるが、実はパミーナは、全世界をわが手にと企む夜の女王の犠牲とならぬように、太陽の世界を支配するザラストロが保護していたことが分かる(第一幕)。王子タミーノは数々の試練を克服してパミーナと結ばれ、

鳥刺し男パパゲーノもパパゲーナという嫁を獲得する一方、夜の女王は野望が成らず闇の世界に落ちていく(第二幕)。このようにあらすじは一見無邪気で単純なメルヘンだが、内容的には当時盛んだったフリーメーソンの思想とも深く関係している作品である。そのため『魔笛』の演出にはメルヘン的な要素を強調するものと、フリーメーソンの思想性を打ち出すものの両極がある。今回紹介の『魔笛』はその両者を巧みに結合し、それによって全体がひきしまったものとなっている。ただ筋立ての面ではなおも支離滅裂と思わざるをえないところがあることは否めない。しかし、『魔笛』の魅力はなんといってもモーツァルトの美しい音楽であろう。ヴォルフガング・サヴァリッシュ指揮の演奏で、「これぞモーツァルトだ」という音をたっぷりと楽しませてくれる。登場人物たちの歌手もミュンヘンオペラ界の人気者ばかりである。『魔笛』の中で私が最も期待する夜の女王(ソプラノ)も、このLDでは少々若過ぎる気はするものの、特に第二幕では魅力にあふれた素晴らしいアリアを聴かせてくれる。第二幕最後の方でパパゲーノとパパゲーナが結びつけられる有名な「パ、パ、パ、パ・・・」の場面も『魔笛』の中の白眉であるが、このLDではパパゲーノとパパゲーナの将来の可愛い子供たちも実際に登場して、舞台を盛り上げてくれる。この子供たちの登場は昨年ウィーンで観た『魔笛』にも取り入れられていたが、おもしろい演出であり、ほほえましいことこの上ない。『魔笛』はこのような工夫ひとつで、ますます楽しくなる要素を含んでいる不思議なオペラである。授業で頭が疲れて気晴らしをしたいとき、是非一度観賞してみて下さい。民衆的で、愉快的な歌もあるかと思えば、宗教カンタータのような厳粛な歌もあり、それらの響きが渾然一体となって不思議な世界へ誘ってくれます。第二幕でワインを飲んでいるときのパパゲーナの台詞のごとく、『魔笛』はとにかく「素晴らしい」(Herrlich), 「素敵だ」(Himmlich), 「見事だ」(Göttlich)!

本学教官著作寄贈図書一覧（平成8年8月～11月受入分）

下記の著作が寄贈されましたので、専用のコーナーに配架して利用に供しています。寄贈者の方々に改めてお礼を申し上げます。

記

本 館

編 著 者	書 名	出 版 社	寄 贈 者
ダム堤にみんなの意見を反映させる県民の会編	吉野川 BOOK I：いま第十堰を知るために	吉野川文化研究会	中 島 信
池上惇・重森暁編	現代の財政	有 斐 閣	中 谷 武 雄
中 谷 武 雄 著	スミス経済学の国家と財政	ナカニシヤ出版	中 谷 武 雄

分 館

編 著 者	書 名	発 行 所	寄 贈 者
附属病院医薬品集 編集委員会	Formulary of Tokushima University Hospital. 徳島大学附属病院医薬品集 第7版	徳 島 大 学	高 杉 益 充
医学部自己点検 評価委員会編	徳島大学医学部教育研究成果 まとめ 1994-1995	徳 島 大 学	医学部自己点検 評価委員会

報 告

徳島県大学図書館協会研修会に参加して

情報サービス課学術情報係 横 川 紀 子

去る10月25日、徳島県大学図書館研修会が行われた。研修会では「自館資料を知る」ことを目的として、各加盟館がそれぞれが所蔵する資料、主に特殊なコレクションについての報告を行った。各館からの報告ではそれぞれの蔵書にまつわる歴史や意義、資料に関わる人物についてのエピソードなどが詳しく調べられており、大変興味深く聴くことができた。本学からは泉山文庫、古地図などを中心に報告があり、中でも伊能図は研修会最後の館内見学で目にする機会を得た。この地図は原本は火災で焼失した伊能図の大変忠実な副本であるという。我が大学でこのような貴重な資料を所蔵していることに感銘を受けるとともに、自分がこれらの資料について全く無知であったことを痛感した。

「自館資料を知る」といってもその資料を「所蔵していることを知る」という段階と「内容や意義、価値を知る」という2つの段階があると考えられるが、第一段階の「存在を知る」という点からしてあやしかったことは、カウンターという自館資料を最

もよく知っておらねばならないはずの所で働いている者として大変恥ずかしい。

貴重資料については日頃接する機会がなかったために知らなかったといういいわけも可能かもしれないが、それでは貴重資料以外の資料ならば全て把握しているであろうかと自問自答してみると情けないことに十分とはいえないのが実状である。利用者に所在を訊ねられ、探しまわってやっと「ここにこんな資料があったのか」と気づくことのなんと多いことか。また図書館資料は利用者に使っていただくためにあることはいうまでもないが、その存在が利用者に周知されていないために眠ったままとなっている資料が多くあるように思われる。この事は図書館員、利用者の双方にとって大変な損失であるといえる。

それでは自館資料を図書館員が知る、そして利用者にとって知っていただくためにはどうすればよいか。最も良い方法は、書架を歩きまわり資料を自分の目で見ることであると思う。書架をぶらぶらしているうちに様々な資料を発見し、後に役にたったというこ

とは少なくない。但しこの方法の欠点として時間がかかるということがある。図書館員にとっては時間をかけても資料に実際に接しつつ習熟していくことは必要不可欠なことであるだろう。しかし利用者にはそのような余裕がないことが多い。多くの利用者は自分の目的にかなう資料をすぐに手に入れたくて図書館を訪れるのである。書架をぶらぶらする時間もなければ、ましてやカウンターの図書館員が資料に習熟するまでなど待つてはいられない。そこで必要とされるのは本学の資料をすべて把握することができるような所蔵目録、そして見通しの利く配架方法でないだろうか。本学の資料はそれぞれ目録に採録されているが冊子体、カード、OPACと分かれており、残念ながら使いやすいとはいえない。また、配架についてもスペースの都合もあって別置されて

いるものが多く、全てを見渡せるという状態にはなっていない。目録にしても配架場所にしても図書館員全員が資料に精通しており、利用者からのどのような質問にも即座に答えられるならばたいした問題ではないのかもしれない。しかし初めて図書館にやってきた人でも自館の資料を第1段階の意味で「知る」ことができるようにしておくことも必要ではないだろうかと思う。

この研修会に参加することによって、県内の大学図書館の特殊資料についての知識を得ることができたと同時に、自館の資料を知ることについて再考する機会を与えていただいた。日常の業務をこなすことだけに終わってしまいがちな日々の中、有意義な体験であった。

図書館日誌

会 議

平成8年8月1日～平成8年11月30日

8/26	第2回医学部図書委員会	10/14	第5回常三島地区運営委員会
9/2	第4回常三島地区運営委員会	10/21	第3回自己点検・評価委員会
9/5	第2回薬学部図書委員会	10/23	第2回蔵本分館学生用図書選定委員会
9/25	第4回係長会議	11/7	第5回係長会議
10/7	第5回蔵本分館運営委員会	11/11	第2回館報編集委員会
10/14	第4回運営委員会		

人 事 往 来

発 令	官	職	氏 名	
平成8.9.30	情報サービス課分館情報サービス係事務補佐員(時間外開館要員)		松本智佳	辞職
平成8.10.1	情報サービス課分館情報サービス係事務補佐員(時間外開館要員)		吉満智子	採用
平成8.11.18	情報管理課総務係事務補佐員(特別休暇・休職代替要員)		清重哲也	採用

編集後記

先生方のご協力により、常三島地区でも蔵本地区に続いて学術雑誌の図書館への集中配置が始まりました。本号の「ガイドンス」等で詳しく紹介していますのでご覧下さい。学術雑誌と呼べるような雑誌が数えるほどしか配架されていなかった昨年度までと比べれば、ずいぶん大学図書館らしくなりました。ただ、図書館のキャパシティがそれに耐えうるのか、少し心配です。(Y.O.)

編集委員会：委員長・河野 清：委員・林、姫野、隅田、滝本、折原、吉田

発 行：徳島大学附属図書館

徳島市南常三島町2丁目1番地 徳島(0886)56-7584 内線(6111)

FAX 附属図書館(本館)(0886)55-9593 蔵本分館(0886)33-2950